

事業番号	06 03 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水環境等保全対策事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課				
		実施期間	S47～	E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献								

### 1 現状と課題

・人為由来による汚濁は対策が進む一方、湖沼環境基準(COD)の達成率はここ数年40%前後となっていることから、自然由来による汚濁負荷対策を進めることで湖沼の水質の更なる改善が必要。自然由来による汚濁負荷量の実態把握やシミュレーションモデルを活用した水質予測、底層溶存酸素の測定、底質の調査等を進め効果的な水浄化対策を検討する。

・諏訪湖については一定の水質改善は見られるものの、近年ヒシの大量繁殖、貧酸素水域の拡大などの課題が生じている。「諏訪湖創生ビジョン」により水質保全、貧酸素対策などに取り組み、改善手法に関する調査研究を推進していく。

### 2 事業目的

・河川、湖沼及び地下水の汚濁状況を常時監視し、工場・事業場などへの立入検査を行って良好な水環境の保全を図り、県民の健康に及ぼす影響を未然に防ぐ。

・諏訪湖については、「諏訪湖創生ビジョン」（平成30年3月策定）に基づき水質保全対策等に取り組み、長期ビジョンである「人と生き物が共存し、誰もが訪れたい諏訪湖」を目指す。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 排出源の監視・指導を実施

- 工場・事業場への立入検査、排水の基準適合状況検査

② 公共用水域及び地下水質常時監視事業を実施

- 公共用水域（河川、湖沼）、地下水の水質検査

③ 「諏訪湖創生ビジョン」の推進に向けた各種事業の実施

- 「諏訪湖環境研究センター（仮称）」整備事業
- 第8期諏訪湖水質保全計画策定のための水質予測シミュレーションモデル実施事業
- 諏訪湖における底層溶存酸素量の類型指定

諏訪湖の底泥採取

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	河川環境基準（BOD）達成状況	%	98.6	100	↗	95.7	↘	98.6	未達成	水環境を評価する上で環境基準※の達成状況を成果指標に設定 ※水質の汚濁などの環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準を、行政上の目標値として定めたもの	
②	湖沼環境基準（COD）達成状況	%	40.0	40.0	→	46.7	↗	53.3	未達成	水環境を評価する上で環境基準※の達成状況を成果指標に設定 ※水質の汚濁などの環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準を、行政上の目標値として定めたもの	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	264,392	10,232	274,624	128,560	254,358	29.0
R3年度	0	143,142	△ 2,262	140,880	97,532	134,291	29.0
R2年度	0	65,679	△ 139	65,540	65,260	63,024	29.0

事業番号	06 03 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水環境等保全対策事業費		部局	環境部	課・室	水大気環境課

## 6 主な取組実績と成果

### ① 排出源の監視・指導を実施

関係法令に基づき、特定施設を設置する工場又は事業場について立入検査を実施し、排出基準の適合状況等について確認を行うとともに、不備事項に対して改善指導を行うことにより、適正な排水処理施設の設置とその維持管理の徹底に寄与。

### ② 公共用水域及び地下水質常時監視事業を実施

水質汚濁防止法に基づき、県内の河川・湖沼の水質常時監視を実施するとともに、事故発生時に備えた関係機関との連絡、被害拡大防止のための措置を迅速に実施するための体制を整え、県内河川・湖沼の水質改善に寄与。

### ③ 「諏訪湖創生ビジョン」の推進に向けた各種事業の実施

諏訪湖をはじめとする県内河川・湖沼の環境改善を促進するための「諏訪湖環境研究センター（仮称）」の設置に向け、改修工事など必要な準備作業を進めたほか、諏訪湖における生態系の保全を含めた水質保全施策を一層推進するため、「第8期諏訪湖水質保全計画」を策定。

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	河川環境基準（BOD）達成状況	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
主に気象条件や自然由来の汚濁負荷の影響が考えられる。全体の傾向としては、年度による大きな増減はなく、2015年以降の環境基準達成率は、95%以上であり、良好に推移している。							
指標②	湖沼環境基準（COD）達成状況	R3年度推移	→	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
達成率は前年度より上昇したものの、目標値の達成には至らなかった。湖沼は閉鎖性水域であり、滞留時間が長く、汚濁物質が蓄積しやすく、水質改善が進みづらい特徴がある。工場・事業場等の点源対策が進んでいるが、有効な対策が取りにくい森林、農地等からの面源負荷による外部負荷や湖内の生物生産等による内部負荷等の様々な要因による影響を受けているため。							

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

令和4年度においても県内の河川・湖沼の水質常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を実施。諏訪湖については、自然由来による汚濁負荷対策の推進、ヒシの大量繁茂、貧酸素水域の拡大による水生生物への影響や漁獲量の減少などの多くの課題があり、水質浄化及び生態系の保全に資するための調査研究を推進する必要がある。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

引き続き、県内の河川・湖沼の水質常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を実施する。諏訪湖については、改定した「諏訪湖創生ビジョン」及び第8期諏訪湖水質保全計画に基づき水質保全対策等に取り組むとともに、「諏訪湖環境研究センター（仮称）」を設置し、諏訪湖をはじめ水環境保全に係る調査研究を効率的かつ効果的に実施する体制を整備するとともに、地域や地元大学等の関係機関との一層の連携、人材の確保・育成など充実強化、情報発信や環境学習の推進を図る。

事業名	<b>水環境等保全対策事業費</b>	部局	環境部	課・室	水大気環境課
-----	--------------------	----	-----	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>1</b>	<b>水資源保全対策事業費</b>	41 千円	42 千円	32 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	全国水需給動態調査事業	直接	県内の水需給の現状と動向を把握するための調査を実施 国土交通省からの委託事業（10/10）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>2</b>	<b>河川・湖沼水質保全対策推進事業費</b>	62,983 千円	134,249 千円	254,326 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	排出源監視事業(水)	直接	工場・事業場への立入検査、排水の基準適合状況検査を実施 立入検査を実施し排出源の監視・指導を実施	
2	水質常時監視事業	直接委託	河川及び湖沼の水質検査を実施 地点数：河川53地点、湖沼18地点、上流域河川7地点	
3	湖沼水質保全事業	直接委託	「諏訪湖創生ビジョン」の推進に向けた各種事業を実施 また、水質予測シミュレーションモデルを実施し、第8期諏訪湖水質保全計画を策定 委託先：いであ（株）	
4	諏訪湖環境研究センター(仮称)整備事業	委託	諏訪湖環境研究センター(仮称)に係る改修工事を実施 契約相手方：(株)岡谷組 他	
5	地下水常時監視事業	直接委託	地下水の水質検査を実施 地点数：概況調査25地点、継続監視調査60地点	